

気象百年史頒布申込みについて

気象庁では明治8年(1875)に東京気象台が開始されてから昭和50年(1975)は百年目に当るので、これを記念する事業として百年史の刊行が計画されています。気象学会としてはこの事業に協賛してその頒布を担当することになりました。

百年史の内容は別項の通りですが、百年にわたる日本の気象学や気象技術・気象事業の輝かしい足跡が分かりやすく整理されています。記録としてもまた研究資料としても貴重な文献と思われるので、会員はじめ多くの方々に推薦できる大冊です。出来るだけ多くの方々が購入されることを希望致します。

なお、希望者は綴込みの葉書を用いて御申込み下さい。

頒布価格：

気象百年史及気象百年史資料編 4,800円(送料別)

なお、分冊の場合

気象百年史のみ 2,600円(〃)

気象百年史資料編のみ 2,200円(〃)

申込期日： 昭和50年2月28日

申込先：〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内日本気象学会

この百年史は当学会以外からは頒布されませんので、申込期日後の注文は御要望に応じられないことがあります。早目に御申込み下さい。

百年史の内容は次の如きものが予定されています。

気象百年史 (B5版約700頁)

写 真(カラー)	第6章	気象衛星
写 真(白黒)	第7章	通報・通信
序 文	第8章	天気予報-1-
目 次		短期予報
I 通 史	第9章	天気予報-2-
序 章 総 括		数値予報
第1章 前 史	第10章	天気予報-3-
第2章 気象事業の誕生		長期予報
第3章 気象事業揺籃期	第11章	海上気象・観測船
第4章 気象事業の確立	第12章	海 洋
第5章 明治の天気予報	第13章	南 極
第6章 明治気象界の話題	第14章	地震・火山
第7章 大正期における気象事業	第15章	研 究
第8章 大正期より昭和期	第16章	航空気象
第9章 昭和期-2-	第17章	応用気象
第10章 昭和期-3-	第18章	災 害
II 部門別史	第19章	広報と部外気象教育
第1章 気象観測	III 官署来歴	
第2章 測 器	序 章 総 括	
第3章 気象統計と資料	第1章 諸官署来歴	
第4章 図書・資料	第2章 気象研究所	
第5章 高層気象観測	第3章 高層気象台	

- 第4章 地震観測所
- 第5章 地磁気観測所
- 第6章 気象大学校
- 第7章 気象通信所

- IV 年表
- 第1章 年表
- 第2章 書目
- あとがき

気象百年史資料編 (B版約600頁)

まえがき

目次

I 来歴文書

- 第1章 お雇い外人に関する公文録
- 第2章 気象事業に関する公文録
- 第3章 予報警報業務開始につきクニッピングの提出せる文書及記述
- 第4章 気象業務関係法規および規程
- 第5章 中央気象台沿革記録
- 第6章 中央気象台一覧
- 第7章 部外の気象観測記録
- 第8章 大正期
- 第9章 昭和期—1—
- 第10章 昭和期—2—
- 第11章 昭和期—3—

II 各種史談類

- 第1章 歴代長官随筆
- 第2章 明治・大正期

- 第3章 昭和期—1—
- 第4章 昭和期—2—
- 第5章 昭和期—3—
- 第6章 快晴(抄)
- 第7章 測候思い出話(抄)
- 第8章 気象放談(抄)
- 第9章 内南洋気象台
- 第10章 函館海洋気象台
- 第11章 沖縄気象台
- 第12章 離島観測所
- 第13章 富士山候測所

III 人名録・略伝

- 第1章 人名録
- 第2章 略伝

IV 写真

(写真)

あとがき

会計委員会からのお知らせ

会計委員会では現在来年度予算案の編成作業中で、1月中にはその概要がまとまる見込です。昨年1月(天気21巻1号)にも述べたように昭和50年度も財政状況はきびしく、昨年末の概算では物価上昇が15, 20, 25%上昇の場合それぞれ40万円, 152万円, 263万円の赤字が出

る見通しです。くわしくは「天気」次号でお知らせしますが、学会財政の確立についてご意見がございましたら気象学会会計委員会(東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁予報課内)までお寄せ下さい。